２０１８年（平成３０年）５月２１日　月曜日

デーリー東北　１１面　掲載

悪天候で2日遅れ　**熱闘始まる**

青森県 春季高校野球 ――第1日

春季青森県高校野球選手権は20日、開幕し、八戸長根、八戸東、六戸メイプルの3球場で1回戦4試合を行った。青森は八戸の追い上げをかわして2回戦進出。むつ工は失策が相次ぎ、八高専に敗れた。八学は、出場20校の選手たちが集結した。選手を代表し、むつ工の伊勢田和磨主将が「一つでも多く勝てるよう、家族、仲間、全ての方々に感謝して全力でプレーする」と宣誓の言葉を述べた。

21日は、3球場で2回戦計8試合を行う。（取材班）

試合速報

きのうの結果

▽1回戦
青　森 9－4 八　戸
八　高　専 7－3 むつ工
八学野西 11－4 五所川原
弘　前　工 10－0 青　森　商
（5回コールド）

きょうの試合

▽2回戦
【長根】
五所川原　青　森（9：00）
西　　北（11：30）
三　本　木　工　大　一（14：00）
【六戸メイプル】
八　高　専　弘　前　東（9：00）
八学光星　八学野西（11：30）
青森山田　弘学館　愛（14：00）
【八戸東】
大　　湊　五　戸（10：00）
弘　前　工　三　沢（12：30）

野西大勝

打線爆発 7回8得点

【八学野西－五所川原】7回八学野西1死二、三塁、川村隆生が右翼線へ適時打を放ち6－3とする＝八戸東

序盤、多様な球種を操る相手投手の投球に苦戦し、なかなか得点を重ねられなかった八学野西。寺嶋恭祐監督の「粘れば必ずチャンスは来る。甘いボールを狙い打て」との指示に従い、1点ビハインドで迎えた七回、打線が爆発した。

細井健人が中前安打で出塁すると、白石健晟が左中間を破る二塁打を放ち、よどみなくつないだこの回だけで8得点を奪う猛攻を見せた。

川村は「逆転後、チームの士気が一気に高まった。一人一人が得意なコースの球を逃さない勢いが生まれ、勝利をつかみ取れた」と満面の笑みで語った。

次戦の相手は、強豪・八学光星。川村は「簡単に勝てる相手ではない。チームで重点的に練習してきた走塁も徹底し、納得できるプレーをしたい」と意気込んだ。（佐藤雄）

1回戦

八学野西 0 1 1 0 0 0 8 0 1 ＝11
五所川原 0 0 1 0 2 0 0 1 0 ＝4

（八）菅野、成田－白石健
（五）対馬佑、工藤颯、小坂－佐藤滉

▽本塁打　対馬佑（五）
▽二塁打　細井、白石健2、坂本、田沢、佐々木廉（八）対馬大、石田、佐藤滉（五）
▽試合時間　2時間23分
（球審＝石田、塁審＝階上、竹高、工藤）

【評】八学野西は1点を追う七回1死一塁、白石が左中間を破る二塁打で一走が生還し同点。続く舘が左前に適時打を放ち勝ち越すと、後続も長短打で得点を重ね、8得点を奪う猛攻を見せた。守備では投手の菅野と成田が10安打を浴びたが、バックに助けられた。

五所川原・佐藤滉主将（4－1の完敗に）中盤までは投打のかみ合った自分たちの野球ができていたが、ミスから心が緩んだ。夏までには、途切れることのない集中力をつくり上げていきたい。

【青　森】
打安点振球
5 1 0 1 0 0
4 1 0 2 0 0
3 2 2 0 0 0
4 0 0 1 0 0
4 1 0 0 0 0
4 0 0 1 0 0
3 0 0 0 1 0
3 0 0 0 0 0
3 0 0 0 0 1
33 5 2 5 1 1

【八　戸】
打安点振球
5 2 0 0 0 0
5 3 0 0 0 0
5 3 1 1 0 0
4 3 2 0 0 0
4 0 0 1 0 0
4 0 0 1 0 0
3 1 0 0 0 0
3 1 0 0 0 0
3 1 0 0 0 0
36 14 3 3 0 0

【八学野西】
打安点振球
4 1 1 2 0 0
4 2 1 0 0 0
4 2 1 2 0 0
4 2 2 2 1 0
4 1 0 0 0 0
4 0 0 1 0 0
3 0 0 0 1 0
3 0 0 0 0 0
3 0 0 0 0 0
33 8 5 7 2 0

【五所川原】
打安点振球
4 0 0 0 0 0
4 1 0 0 0 0
4 1 0 0 0 0
4 1 1 1 0 0
4 0 0 0 0 0
4 0 0 0 0 0
3 0 0 0 0 0
3 0 0 0 0 0
3 0 0 0 0 0
33 4 1 1 0 0

デーリー東北新聞社提供